



鹿児島市立山下小学校

学校だより

令和5年度 No.2 令和5年6月10日発行

年間一事徹底「きれいに整える」

【6月の目標】

生活：落ち着いて行動しよう

保健：歯を大切にしよう

「山下小向田邦子賞」の取組

教頭 帖佐 康博

直木賞作家でテレビドラマの脚本家として活躍した向田邦子さん（1929～1981）は、小学校3年生の3学期から5年生までの約2年間、本校（当時は山下尋常小学校）に通っていました。向田さんにとって鹿児島は、家族との温かい思い出に包まれた大切な場所であったと同時に、作家としての原点になった場所でもあったとされています。

平成23年3月、本校では向田さんの没後30年を記念し、児童の日記や作文を表彰する「山下小向田邦子賞」を創設しました。「自分の生活を鋭く見つめ、豊かな感性を身に付けてほしい」という願いを込めて始まった取組は10年以上続き、今では本校の特色ある教育活動の一つになりました。表現や構成などを工夫して書いたり、友達の優れた作品に触れたりする経験が、児童の表現活動への意欲や技能の向上につながっています。

先月行われた今年度1回目の授賞式では、11人の児童に賞状が授与されました。作品は、北校舎玄関と歩道（通用門横）に設置された掲示板に掲載しています。ぜひご覧ください。



【授賞式の様子】

6年生 修学旅行 ～更に絆が深まりました～

5月9日（火）・10日（水）、1泊2日で6年生の修学旅行を行いました。

1日目（8日）の早朝、たくさんの方々に見送られ、向かった先は子供たちが一番楽しみにしていたグリーンランドでした。ジェットコースターやお化け屋敷などのアトラクションを終始笑顔で楽しみました。ホテルでは、大浴場や豪華な食事、買い物などに大興奮でしたが、ルールを意識しながら友達を大切に過ごすことができました。

2日目は、熊本城と恐竜博物館に行きました。熊本城では、敵からの攻撃を防ぐために城の造りには様々な工夫があることを学び、恐竜博物館では、化石発掘体験や館内見学を通して、生命や自然について考えを深めることができました。

この1泊2日の修学旅行を通して、たくさんの思い出をつくとともに、「規律・協力・自主」の大切さを学びながら互いの絆を深めることができました。現在では、修学旅行に行く前よりも、子供たちがともに声を掛け合い、助け合い、協力する姿が多く見られます。今回の経験を基に、山下小の最上級生として、これからどのような学校生活を過ごしてくれるのかとても楽しみです。

～修学旅行の主な行き先～ 【1日目】グリーンランド（荒尾市）、ホテルセキア（南関町）

【2日目】熊本城（熊本市）、御船町恐竜博物館（御船町）



御寄贈いただきました



この度、「有限会社 Sawa Company」様からサッカーボールと長縄を寄贈していただきました。

学級に一つずつ配付し、子供たちがより一層運動を楽しむことができるように活用していきます。

6月の主な行事予定

- 10日 (土) 土曜授業
- 14日 (水) B校時
- 15日 (木) 第1回学校保健委員会
- 21日 (水) B校時 ※全学年給食後 13:00 に下校
- 25日 (日) あいご球技大会
- 28日 (水) B校時, 校内水泳大会・学級PTA【高】
- 29日 (木) B校時, 校内水泳大会・学級PTA【中】
- 30日 (金) B校時, 校内水泳大会・学級PTA【低】



※ 行事等が中止や延期になる場合は、
文書や「山下小安心メール」にてお知らせします。

あけぼの教室で行っていること

本校にはあけぼの教室（通級指導教室）があります。あけぼの教室では、個別や小集団の中で、一人一人の実態に合わせて指導することで、安心して「学ぶ喜び」を感じられるようにしています。

5月、低学年では、あいさつをする際の大切なポイント（「顔を見て」、「笑顔で」、「聞こえる声で」など）を提示しながら、あいさつの練習をしました。練習後には、実際に校長先生や保健の先生の所へ行き、ポイントを意識した上手なあいさつをすることができました。少人数指導という環境を生かし、「相手に聞こえる声であいさつすることができましたね。」、「あいさつされた先生が『気持ちがいい』って言っていましたね。」と多くの称賛をしてきました。授業後には、担任の先生と連携することで、教室でも大切なポイントに気を付けてあいさつをすることができるようになっていきます。

また、読みや書き、計算等に課題がある子供もあけぼの教室には通ってきます。文章を飛ばして読んでしまう子供に対して、読む部分を指でなぞりながら読み飛ばしをなくしたり、定規を当てながら読む部分だけに注目できるようにしたりしながら読む学習をしました。授業後には、子供にどちらの方法が読みやすいかを確認し、担任の先生に伝えました。学級でも定規を当てることで教科書を上手に読むことができるようになっていきます。

あけぼの教室で行っているこのような学習を“自立活動”といいます。子供が学習したり、生活したりする際に生じる課題を自ら積極的に改善・克服したり、子供が持っている能力を伸ばしたりする学習です。

子供が持っている力を最大限発揮することができるように担当職員一同、今後も授業の充実や担任・保護者との連携に努めていきます。

おめでとう ～コンクール入賞者等の紹介～ ※敬称略

【歯と口の健康週間作品展～図画・ポスターの部～】〔銅賞〕2年 Y・S 3年 N・Y
〔入選〕4年 G・R

【令和5年度 第1回（春季）山下小向田邦子賞】

年	名前	題名	年	名前	題名
2	T・M	げんきでね もんしろちょう	4	Y・S	続けていこう心のリレー
	M・H	ハンミョウのよう虫つり		S・S	小さな勇氣, 大きな一歩
	I・H	春でかわったまい日		I・A	あいさつ
3	H・M	ありがとうでにっこり	5	F・A	ねこの目線から
	I・A	いろいろな気持ち		H・A	大切だけでは言い切れない
6			6	T・A	ちっぽけな命?
				T・K	最高学年でのぼくのチャレンジ

※1年生は、第3回（10月）から参加します。